

第91回 令和7年9月26日（金）

今日は最近読んだ本の紹介です。

私は残念ながら代休中も出張が入っていたので好きな読書をゆっくりできませんでした。
それでも何冊か面白い作品と出会えました。

文芸部さんの展示で『骨を喰む真珠』北沢陶作が飾ってあったので、買って読んでみました。新人作家なのに筆力がすごいですね。次の作品が楽しみです。（文芸部さんの作品も読ませていただきました。こちらも読みやすく将来が楽しみです。長編とか書いたら最初に読む一人に加えていただけると嬉しいです。）

新人の作品だと『アフターブルー』朝宮夕作は面白かったです。キャラクター造詣がしっかりしていました。作者のプロフィールを見たら横浜市出身と書いてありました。次も期待しています。

櫻田智也の『失われた貌』も文章力があって面白かったです。こちらは40代の作家さんと言うことで、デビューは遅いですがディテールはしっかり描かれていました。続編がありそうで楽しみです。

ベテランでは染井為人の『黒い糸』とホリージャクソンの『夜明けまでに誰かが』を読破しました。二人ともハズレがないのがすごいです。どの作品も一気読みです。

そして本命が早瀬耕の『未必のマクベス』。これは結構前から書店に並んでいて、気にはなっていましたのですがよくある恋愛小説かなと思ってスルーしていました。

読んでみてビックリ。これはサスペンスの王道ですね。本当に面白かったです。

主人公の自分を何者とも比較しない生き方に憧れました。マクベスのお話を知っているとさらに面白いので、ネットであらすじを検索してから読むと良いかもしれません。

私は本を読むと読了した日と自分の評価を100点満点でつけています。久しぶりの100点。この作品の前の100点は住野よるの『また同じ夢を見ていた』だったので2か月ぶりでした。

本は好みがあるのでここにあげた作品がみなさんに面白いかどうかはわかりません。本屋に行く楽しさは自分の好みではない本を手に取って思いのほか面白かった時です。

みなさんは忙しくてあまり読書をする時間も取れないかもしれません。私も寝る前の30分とか、本当に隙間時間に本を読んでいます。読みたい本を次々買うので本棚に積みあがっていますが、これから読む本がたくさんあることを幸せに感じています。